

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では、数年前における極度の学力不振や荒れに伴う学級崩壊といった状況を、教職員一丸となって子どもたちの指導に当たり克服してきた。現在のコロナ禍にあっては、学校の方針や対応姿勢を地域・保護者に理解いただきながら穏やかな学校運営がなされている。また、学校の研究方針を策定するにあたり、教科にとらわれるのではなく、広く子どもたちを学びに向かわせたいとの理念のもとに「知的好奇心を高める授業の探求」を研究テーマに定め、子どもたちの達成感や充実感を高める取り組みを推進してきた。結果として、全国学力学習状況調査において、国語は全国平均を若干下回るものの、算数は全国平均同水準となっている。小学校学力経年調査では、どの学年も大阪市平均を超える数値を上げることができた。今後も本校の良き文化を伝承し、地域・保護者とも手を携え、「キラリと光る学校」を目指していきたい。

中期目標

【取組内容：安全・安心な教育の推進、学びを支える教育環境の充実】

学校アンケートの「安全で安心できる学校」「教育環境の充実」にかかるすべての項目において、肯定的回答の割合を令和7度末までに90%以上にする。

【取組内容：未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校アンケートの「知的好奇心を高める授業や取り組みをすすめ、多様化する社会を生き抜く力を育成する」にかかるすべての項目において、肯定的回答の割合を令和7度末までに90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【取組内容：安全・安心な教育の推進、学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を100%にする。

学校の年度目標

学校アンケートの「安全で安心できる学校、教育環境の充実」にかかるすべての項目において、肯定的回答の割合を今年度末までに90%以上にする。

【取組内容：未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を38%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を男女とも62.6%以上にする。
- ・学習者用端末を活用した家庭学習を週1回実施する。

学校の年度目標

学校アンケートの「知的好奇心を高める授業や取り組みをすすめ、多様化する社会を生き抜く力を育成する」にかかるすべての項目において、肯定的回答の割合を今年度末までに90%以上にする。

大阪市立加美東小学校 令和4年度 運営に関する計画（目標別シート①）

評価基準 A:目標を上回って達成した C:取り組んだが目標を達成できなかった	B:目標どおりに達成した D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【取組内容：安全・安心な教育の推進、学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を100%にする。 <p>学校の年度目標</p> <p>学校アンケートの「安全で安心できる学校」「教育環境の充実」にかかるすべての項目において、肯定的回答の割合を今年度末までに90%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1】安全・安心な教育環境の実現〔いじめ、不登校等への対応〕 互いを認め合い、より良い集団を目指す子どもを育てる。	B
指標(1)いじめや不登校、問題行動、児童虐待に関して、保護者と地域、関係諸機関との連携し、未然防止及び早期発見、対応・解決に努める。児童理解の場を通じて教職員間で情報を共有し、指導の方向性を一致させて組織的な対応を行う。アンケート調査で把握したいじめ事案について、完全に解消した割合を95%以上にする。新たな不登校児童を発生させないよう、未然防止策の実施に努める。 (2)学校アンケート〔児童用〕「学校が楽しい」、〔保護者用〕「子どもは楽しく学校生活を送っている」の項目について、肯定的な回答割合を前年度より増加させる。	B
取組内容②【基本的な方向1】安全・安心な教育環境の実現〔安全環境の実現〕 子ども達が健やかに成長できる教育環境を整備し、活用を図る。	B
指標(1)安全で安心して活動できるよう、施設の整備・改善に努める。使用・活用にあたって、衛生面を含めルール・マナーの徹底を図る。学校アンケート〔保護者〕「学校はコロナ禍においても子どもの安全確保に努めている」の項目で、肯定的な回答割合を前年度より増加させる。 (2)学校管理下における災害の発生件数を、昨年度より減少させる。	B
取組内容③【基本的な方向2】豊かな心の育成 道徳教育の推進とキャリア教育の充実を図り、自己肯定感・自己有用感のある子どもを育てる。	B
指標(1)学校アンケート（児童）「将来の夢や目標をもっていますか」「人の役に立つ人間になりました」といいますか」「自分にはよいところがあると思いますか」の項目で、年度初めと年度末を比較し、肯定的な回答割合を増加させる。 (2)道徳科の校内研修を年1回以上行うとともに、「個性の伸長」など重点的に指導し、授業を通して豊かな心を育む。	B
取組内容④【基本的な方向7】人材の確保・育成としなやかな組織づくり 働き方改革を推進する。	B
指標 時間外勤務時間が月45時間以上の教員の割合を20%以下にする。	B

大阪市立加美東小学校 令和4年度 運営に関する計画（目標別シート②）

評価基準 A:目標を上回って達成した C:取り組んだが目標を達成できなかった	B:目標どおりに達成した D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【取組内容：未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を38%以上にする。 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を男女とも62.6%以上にする。 ・学習者用端末を活用した家庭学習を週1回実施する。 <p>学校の年度目標</p> <p>学校アンケートの「知的好奇心を高める授業や取り組みをすすめ、多様化する社会を生き抜く力を育成する」にかかるすべての項目において、肯定的回答の割合を今年度末までに90%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4】誰一人取り残さない学力の向上</p> <p>知的好奇心を高める授業や取り組みをすすめるとともに、国語科の読み取る力の充実を推進し、自分の考えを表現する力を向上させる。</p>	
<p>指標(1) 経年調査における国語科「思考・判断・表現」の観点の平均正答率を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>(2) 学校アンケートの「自分の考えを表現することができますか」の項目で、肯定的な回答の割合を81%以上にする。</p> <p>(3) 学校アンケートの「本を見たり、読んだりすることが好きですか」の項目で、肯定的な回答の割合を82%以上にする。</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向6】ICTを活用した教育の推進</p> <p>日常的に子どもたちがICTを主体的に活用し、多様な情報を選択・活用しながら情報活用能力を高めるとともに、子どもたちの表現力や学びに対する主体性の向上につなげる。</p>	
<p>指標</p> <p>学校アンケートの「キーボードを使って文字の入力ができますか」や「知りたいことをインターネットで調べることができますか」などのICT機器の活用に関するすべての項目で、肯定的な回答の割合を80%以上にする。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向5】健やかな体の育成</p> <p>グループ活動を積極的に取り入れた体育科の授業展開を工夫し、友だちと一緒に活動する楽しさを味わわせ、運動に対する意欲を高める。自分の身体や健康に対する意識を高める。</p>	
<p>指標(1) 学校アンケートの「体を動かすこと（遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的な回答の割合を85%以上にする。</p> <p>(2) 健康チェック週間におけるアンケートの「昨日の夜は、早く寝ましたか」「今日は、早起きができましたか」「はんかち、ティッシュを持って来ていますか」「よいしせいを心がけましたか」の項目で、肯定的な回答の割合を前年度より増加させる。</p>	B

